課題番号：2026-285
作成日：2026 年 10 月 26 日　第 1.1 版

多剤併用高齢がん患者における潜在的に不適切な薬剤(PIMs)の使用状況に関する実態調査ならびに化学療法施行中の有害事象との関連性

１．研究の対象

2021 年 10 月～2026 年 9 月の期間で国立がん研究センター中央病院(以下、「当院」という。)に入院されて化学療法を開始した 65 歳以上で常用薬が 6 剤以上のがん患者さん

２．研究目的・方法

研究目的：当院で化学療法を開始した多剤併用高齢がん患者における PIMs の実態を把握するとともに PIMs と化学療法施行中の有害事象に与える影響を明らかにすることで化学療法を受ける高齢がん患者における適切な薬物療法を検討する基礎資料を得ることを目的とします。
研究方法：研究対象者の診療情報から PIMs に関する情報を抽出し、解析を行います。
研究実施期間：研究許可日～2028 年 3 月 31 日

３．研究に用いる試料・情報の種類

服用している薬剤数・薬剤の種類、病歴、血液検査値等

４．情報の授受

本研究は単機関研究であり、他機関への情報提供は行いません。

５．研究組織・研究責任者

国立がん研究センター中央病院　薬剤部　橋本　浩伸

６．お問い合わせ等

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
情報が研究に用いられることについて研究対象者の方もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。
なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データ

などを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
住所：〒104-0045
東京都中央区築地 5-1-1
電話：03-3542-2511　（代表）
担当者の所属・氏名：国立がん研究センター中央病院　薬剤部　道家　由行